平成２５年８月５日

京都経済記者クラブ加盟社　御中

有限会社西崎染工

ぼかし引染による
「天然染料 100%本草木多色染」の着物を開発

和装製品の引染を中心に委託染色加工を行う有限会社西崎染工（京都市右京区、取締役社長西崎博行）では、平成 23 年の経営革新計画承認および京都市産業技術研究所からの技術支援を受け、ぼかし引染による「天然染料 100%本草木多色染」の反物を商品化しました。

弊社では主に着尺、附下訪問着、八掛、染帯などの委託染色加工を行ってきましたが、和装関連の市場規模が縮小する中、従来の加工技術の向上だけでは生き残れないと考え、新商品や新技術の開発の必要性を感じていました。

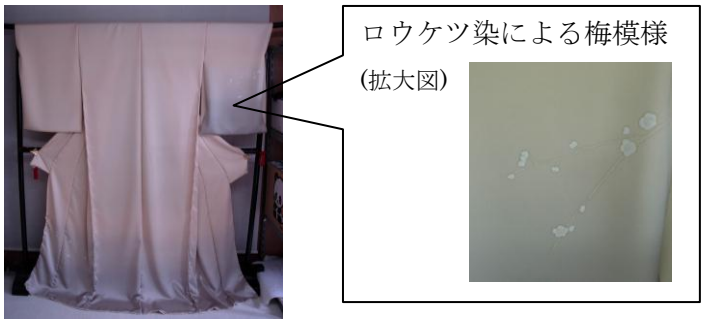
そこで、これまで培った引染技術を活用し、3 年前より「天然染料 100%本草木多色染」の商品開発に取り組んできました。着物の「本草木染」（天然染料 100%とは限らない）は通常、浸染（一色染）でしか対応できないと言われていましたが、業界では珍しい天然染料 100%の引染を開発するとともに、さらにその染色技術を使った「ぼかし引染」（多色染）を可能としました。

このたび、その「ぼかし引染」による反物を商品化し、受注受付を開始する運びとなりましたので、周知および取材につきお取り計らいの程よろしくお願いいたします。

＜商品紹介＞

これまで蓄積してきたデータに基づき、材料・媒染・水の量や質、抽出する温度や時間を徹底管理することで、毎回均一に近い濃度の染料を作り出し、色再現性を高めています。

①



梅染　本草木染

②

たてぼかし　本草木染

【原材料】①梅　②広：梅、中色：南天、狭：ラックダイ
【媒　染】①地：チタン、裾：鉄　②銅
【特　徴】・従来の浸染よりも染料が少量ですみ、刷毛で染色するため廃液量が少なく低コスト。
・材料の掛合せによる多色染ができ、ロウケツ染（外注加工）による自由な表現も可能となりました。
・天然染料は複数の色素を含んでいるため、光の種類（室内・屋外）や量、当たる角度によって、色が微妙に変化し「玉虫色」となることがあります。また、時間とともに色の深みや発色が増す傾向にあります。
・天然染料を使用しているため体や環境に優しい商品です。

＜「ぼかし引染」とは＞

「引染」とは、柱から柱に長さ約13mの生地を張って、染料を含ませた刷毛で染める染色法のことです。通常使用される「浸染」（釜などに布や糸を浸して染め上げる）では、一反あたり50ℓ必要であるのに対し、引染では一反あたり1.5ℓと大幅に低減されます。

引染

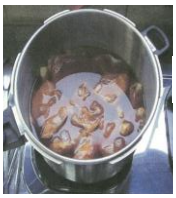
浸染

＜引染の制作工程＞

（１）天然素材を微粉末化。
（２）電子計量器などを使い、水と温度と時間を管理して色素を抽出。
　　→液体染料を作り、再現を可能にするため原液データを収集。
（３）原液を不織布などでろ過して材料の不純物を除去。
（４）染料が生地に定着しやすいよう染液に天然布海苔を混合。
（５）柱から柱に張った生地に刷毛で染色。独自の技法で、染ムラや刷毛跡が出ないよう染色。

⇒

⇒

⇒

⇒

⇒

＜会社概要＞

弊社は、先代、先々代と三代にわたり、京都で「染色」という仕事に携わってきました。先々代が明治 38 年に友禅染を手掛ける西崎を創業後、昭和 53 年に先代が設立した有限会社西崎織物染色では浸染による一色染を展開するなど、100 年以上にわたり染色技術の伝承や品質の向上に取り組んでまいりました。その後、社名変更を経て、「色落ち」「色やけ」に対する技術開発に取り組み、当時は革新的であった色落ちしない染色技術「堅牢染」を誕生させました。

一方で、平成 10 年に染色技術に特化した有限会社西崎染工を設立し、新たに引染工場を持ちました。これにより、従来の無地染（一色染）だけでなく、様々な「ぼかし染」で表現した無地感覚の染色にも取り組んでいます。

また平成 23 年には、「引き染による天然染料 100%の製品開発」をテーマとした経営革新計画の認定を受けました。さらに、京都市産業技術研究所からの技術支援を通じて、天然染料 100%の染色技術を使った「ぼかし引染」を開発し、商品化に至ったところです。

これからも、「いろ」そのものに頑なにこだわった「染屋」として精進してまいります。

【会社名】有限会社西崎染工
【代表者名】取締役社長　西﨑博行
【所在地】〒615-0933　京都市右京区梅津後藤町 3-2
【連絡先】TEL：075-861-7121　　FAX：075-861-7112
【沿革】明治 38 年　西崎創業
　　昭和 53 年　有限会社西崎織物染色設立
　　その後、株式会社西崎織物染色、株式会社ニシザキと社名変更
　　平成 10 年　有限会社西崎染工設立
　　平成 23 年　経営革新計画承認「引き染による天然染料 100%の製品開発」
　　京都市産業技術研究所「天然染料による引染及びインクジェット技術を用いた着物の開発」との共同研究

お問合せ先

有限会社西崎染工　取締役社長　西﨑博行
京都市右京区梅津後藤町 3-2
TEL：075-861-7121　E-mail：nisizaki@lake.ocn.ne.jp
HP：http://www.eonet.ne.jp/~nisizakisenkouhp/